

フルカラーコミック  
Full Color Comic



# 真・超次元伝説ラル マール

adult only

くわいむれモン

# RALL

Legend of Super-dimension

ラルの空に四つの月が並び  
悪しき魔物の影がラルの国をおおうとき  
ひとりの勇士が伝説の剣とともに  
ゴモロスの神殿におりたつ  
リバー入の方はその者の内に甦り  
悪をうつために光り輝く

——ゴモロス神殿にまつわる予言

原案：くりいむレモン  
SF超次元伝説ラル  
Text：ローライ  
CG：らも兄



全宇宙の支配をもくろむ魔王ラモー・ルーが伝説の剣リバースを求めて惑星ラルに降り立った。そしてラル王国の王女ユリアまでもが囚われの身となっているという。

惑星ラルに住む少女キャロンは怪鳥キーラに乗り、空中遊泳を楽しんでいたが、ラモー・ルーの配下黒騎兵に襲われてゴモロス神殿へと落下してしまった。

目覚めたとき、キャロンは鎧に身を包み、神殿の台座の上に横たわっていた。



神殿で出会ったのは自称・元剣士のペルル。彼は王女を救おうとして返り討ちに遭い、小竜の姿にされていた。

ペルルは神殿の水晶鏡でラモーの悪逆非道ぶりをキャロンに語った。



そのとき、先ほどの黒騎兵が追撃してきた！

だが間一髪、黒マントの男がキャロンを助けた。

「剣士どの！ ラモー・ルーの宮殿へと向かうのです。リバーズの剣を持って。あなたこそ、このラルを救えるゴモロスの伝説の剣士！」

男は自らをラル王家の第一衛士ライケと名乗った。

「ゆきなさい！ 早く！ ラモー・ルーを倒せるのはあなただけだ！」

宮殿にたどり着いたものの、

ペルルとはぐれてしまったキャロン。

誘われるように進んだ大広間で囚われの王女を

発見するが――



ユリア王女は囿だった。まんまと罠にはまったキャロンの前に魔王ラモー・ルーが出現した。  
そしてわずかに手をかざしただけでキャロンの装備を破壊してしまった。



!!  
ラモー!  
ルー!?

いかにも





千からう  
も  
抜く  
の  
だ...

ハッハッ  
私の

目を覚めて〜

ぬあっ?! あっ

何...!!  
すんのよ

あ...



強力な催眠術がキャロンを襲った。  
初めは抗っていたキャロンだったが、次第に抵抗力を失っていった。  
ラモー・ルーの魔手が弄ぶようにキャロンの肢体をまさぐっていく...

もみもみ

!?

?  
?



ラモー・ルールの執拗な責めにキャロンの性感は高まる一方だった。これも魔力のなせる業だろうか。

剣も失えば  
あなたも  
可愛い……

小娘  
システム

ついにラモー・  
ルーがその正体  
を現した。

# ラモー・T・ルー

LAMOW - TAKURO - ROU

少女の蜜を舐め取って  
魔力のエネルギー源に  
するつもりだ！  
「ふふふ。思った通り  
美味い蜜よの。久しく  
百万年前の魔力が  
よみがえりそうじゃ……」

👍 イね!





舌...  
舌ああ

はあっ  
はあっ

ああああ...

田んぼに...

美味い蜜

ごめいごめい

待...?  
あ!?

あ...  
あ...

ゆるゆる

ゆるゆる



イヤッ  
おしっこ...

見ないでえ  
えええええっっっ

おしっこ

おしっこ

おしっこ

おしっこ

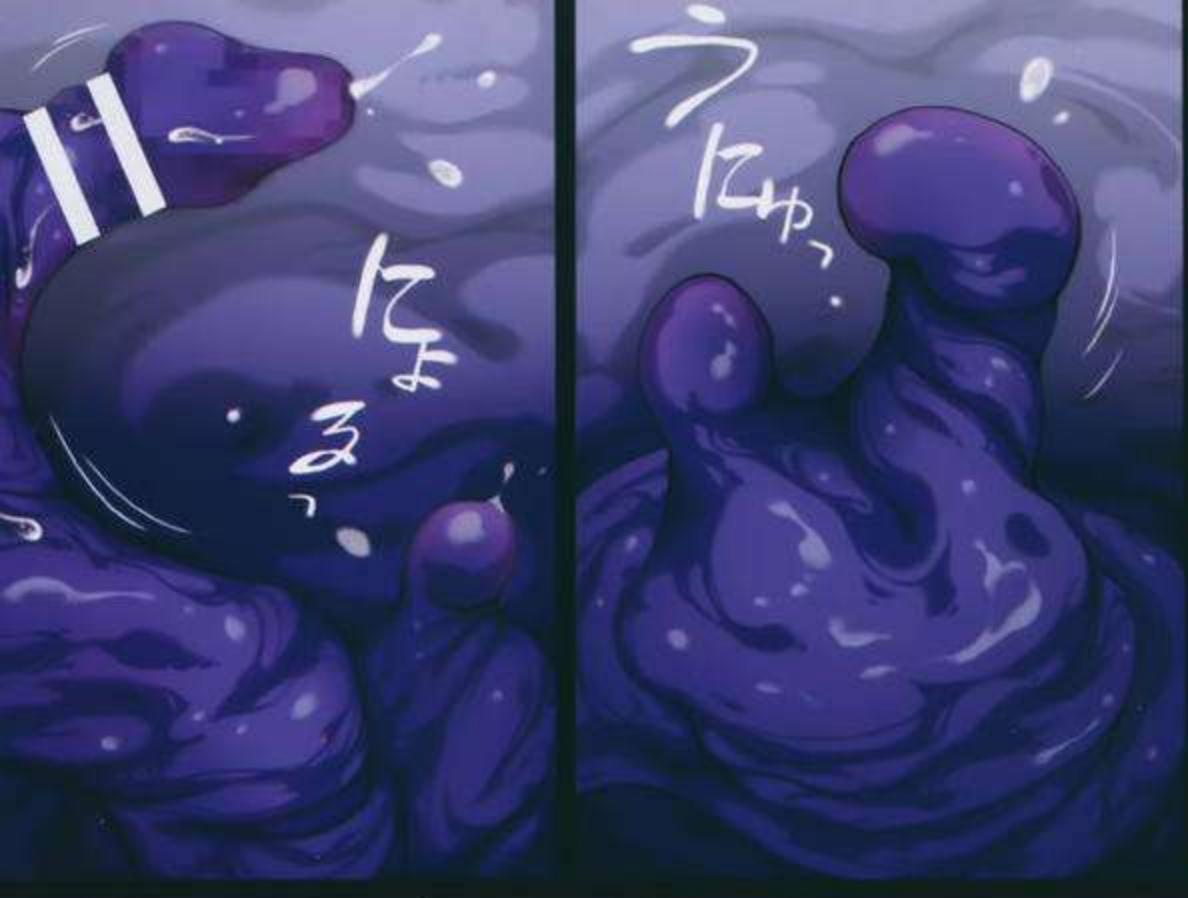
キャロンはラモー・ルーの手に落ちて  
しまった。王女ユリアとともに、これ  
より永遠に翻られ続ける運命だろうか。  
そのころ、ラル王国では突然雷が鳴り  
響き、大地が揺れ、なにかの予兆が告  
げられているかのようだった。

私の部屋に  
連れて来い！

ずり











あああ

は

あん...

挿入

挿入

しゃべり

!





種付け  
するからつ  
んぬー！

オアオア  
オアアツ

...

...

...

...

そんなの...



...

...



...

...



ん〜？

「そっち」とはどっちなのかなあ

違います そっちは…

あの…!?

な〜い〜と〜

211 211

211 211



211 211





♥ Excellent !!

触手で

お蹂躪りん  
されてえ...

あーん♡











んっ♡  
ちゅむ♡

ちゅむ♡

ちゅむ♡

ちゅむ♡

ちゅむ♡

— 熱い精液を大量に浴び、体内に注ぎ込まれた二人は何度も絶頂へと達した。めくるめくエクスタシに取り込まれて、他にはなにも考えられなかった。無数に這い寄る触手を、ただひたすら求め続け、更なる快楽を貪るかのようだった……。





おっ  
王女さま  
ダメ…です  
そんなトコ…

剣士さまの…  
ピクンピクンて  
とっても  
可愛らしいん  
ですもの…♡

おなか  
(魔力)  
いっぱい…♡

そのとき、ペルルが  
(アニメよりかなり遅れて)  
リバースの剣とともに飛来した。  
剣を得たキャロンは拘束を断ち切り、  
ラモー・ルーと対峙する！





だが、相手は幾百万年もの間、  
生き続けてきた魔物である。  
リバースの剣を破壊されて、  
キャロンは再び窮地に!!

ライケに助けられたユリアが叫んだ。

「やめてー、わたしは王女ではありません。  
幼い頃に替え玉として育てられたのです!」  
その刹那、天空に四つの月が重なり合うと  
光が腕輪に注ぎ、真のリバースの剣がそこに  
現れた。

王女キャロンの一撃によって魔王ラモー・ルーは討ち滅ぼされた。  
そしてラル王国に再び平和がおとずれたのだった。



END



Legend of Super-dimension

# RALL

# Prologue

悪しき魔法使いラモー・ルーの宮殿では、囚われの身となった王女ユリアにラモー・ルーがリバースの剣のありかを白状させようと容赦ない責めを加えていた。

ラル王家に代々つたわる万能のリバースの剣を手に入れば、全宇宙をラモー・ルーが支配できるのである。だが、ゴモロス神殿の予言によれば、今日こそはこの惑星ラルの空に四つの月が並ぶとき、そしてリバースの剣を持った伝説の勇者が現われ、平和をとりもどすために悪を討ち払うというのである。

王女ユリアは伝説の剣を守り、ラルを救うため、ラモー・ルーから執拗な辱めを受けながらも必死に堪えていた。



## あとがき

くりいむレモン Part3「SF超次元伝説ラル」はシリーズ中最高クラスの人気を誇るというのに、なぜか本サークルでは同人誌を発行したことがありませんでした。

その理由を改めて考えてみると、これまでに発行した同人誌は全てアニメーターの富本氏がキャラクターデザイン、作画監督、演出等を担当したものばかりであり、そこにローライ個人の偏った嗜好が見て取れます。

しかし実のところ「SF超次元伝説ラル」もストーリーや基本設定は富本氏の手によるものであり、実質的な違いはそれほど大きくありません。ならば、この作品を選ばない道理はない。

そんな想いを抱いて、「真・超次元伝説ラル」は完成しました。CGを担当するらも兄さんにとっても、「SF超次元伝説ラル」は彼自身のハンドルネームの基となった作品であり、思い入れはわたし以上であると感じます。その熱意が読者各位に伝わることを願います。

本編について少し解説しておく、魔王ラモー・ルーは途中で半人間型に変化します。これは原作アニメにはない本誌独自の解釈であり、やはり美少女を犯すのはデブのヲタクがよいという理念によるものです（笑）ちなみに、これまでの本サークル独自キャラと似かよっていますが、気のせいです。

ローライ

2018年12月31日 発行

著者 ローライ らも兄

発行者 ローライ

発行 オーバーコッヘン

印刷 太陽出版

e-mail postmaster@oberkochen.sakura.ne.jp

http://oberkochen.sakura.ne.jp/rollei/

http://dhicool.sakura.ne.jp/yakilemon.html

2人の「成長」を  
温かく見守る  
ラモー氏 ←



わかっていた  
コトとはいえ…  
明日から  
平民に  
なるのね…私



しもじも  
下々の  
暮らしなんて

…本当に  
できるのかしら

侍女は何人まで  
OKなんだろう…?



そーいえば今年から

年貢 ねんぐ を

30%増に

したんだった…  
あれって私も払うの?!



まさか  
ね…(笑)

あ…っ 先週買った

髪飾り!! こっそり

特別会計で

通しちやっただのが…

バシるかもっ



ヤバ?!  
そーいや  
あのドレスと  
フツも…

ユリア王女の濡れ場をはじめて描いた感想は、「偽・王女」という設定 なかなかイイな、でした。しかし彼女の今後が心配です。アニメではエンディングで農民らしく牛車を操って働いてますが、王国の混乱を防ぐためにも、王女代理とかの役職にすべきじゃないでしょうかね? らも兄

Presented by  
オーバーコッヘン  
OBERKOCHEN

& 焼きレモン ROAST LEMONS

